

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4605
25年12月16日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

年繁要求書に回答が行われる 誠意のない回答姿勢に強く抗議する！

おはようございます。早いもので12月も半月が過ぎ、お歳暮ゆうパックの配達はピークを越えたようです。今年のゆうパック配達持ち出しのピーク予想日は12月1日でしたが、前日10日が170%、その後13日までの3日間は200%弱と、例年に比べても局の物数予想と比較しても非常に多くのゆうパック配達があり困難を極めました。

局も多少の増配置はしていたようですが、当日物増が分かってからの対応が不十分でした。お歳暮ゆうパックを翌日以降に回すなどの物量調整指示も出さない。夜勤者も中勤で出勤させることも渋る。そのくせ「安全最優先で」とお題目だけは唱える、これでは社員のモチベーションは下がる一方です。今期、管理者が一階の集配作業エリアに降りてきて、配達員の業務量を把握する姿は見ません。「管理者」というならパソコン上で数字を追いかけるだけでなく、現場で作業量・配達員の負荷などが想定を超えていないかの把握、また超えそうなきには適切な指示を出す等、社員が期待する「管理する者」であって欲しいものです。

郵政ユニオンの年末年始繁忙要求と長中局の回答(抜粋)

1. 昨年は「年末年始繁忙期における業務運行」の業研が班ごとに行われた。このやり方だと何回も業研説明を行わなければならない課長代理の負担が大きい。また時間を確保することが難しく必要な説明がなされなかった社員もいた。従来のように管理者による業研を行うこと。
局) 業務研究会の実施にあたっては、管理者等が計画的に十分な時間をかけて実施することとし、資料配布のみで終わらせることが無いよう対応する。
2. 昨年は年賀配達を担当する集配部の社員は7時半出勤となったが、元旦午前中配達という縛りもなくなって久しい。担当する社員の勤務開始は8時とすること。
局) 年賀郵便の配達物数及び要員事情等を考慮し、総合的に判断したうえで、効率的な出勤時間を検討する。
3. 元旦配達は午前中の配達完了を目指すのではなく、平常通り午前の配達終了後、昼休憩を取得。その後午後の配達作業とすること。
局) 年賀郵便物は元旦(1/1 終日)を継続するため、休憩時間は勤務表とおり取得させる。
13. 混合区・ゆうパック担当者が3時間以上の超勤となるケースが見られる。課長による夕方の通配区担当者への応援指示などを的確に行い、混合区・ゆうパック担当者に超勤が偏らないように配慮すること。
局) 業務量に応じて適切な要員配置及び超勤発令を行っていく。

ク繁忙のピークも過ぎようかという時期の回答に強く抗議します。



今回の要求書では
・ 特例休息を含めた休憩時間の取得など勤務時間管理
・ 業務開始前や休憩時間中に居住確認などの作業をしていることから、時間前着手を撲滅するため



・ 年繁期における班長時間確保について長中局の考え方
・ 超勤の場合の長時間連続勤務対策について、事故にもつながりかねない重要な問題などと改善を求めました。

管理面からも極力配慮する事とするが、必要な休日労働及び非番日労働は命じて行く」と回答するなど、半分弱の項目で組合の要求に即した回答を行わず、とても誠意ある対応とは言えないものでした。支部はこの回答に抗議し、具体的な数字や対応策などを再回答するよう要求しています。

なお回答の場では、要求書への回答と合わせて、年繁期間中の業務についての考え方や対策の説明があり意見交換を行いました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の権利を守る闘いを止めてください。

おろが、均等待遇を

なすべく闘争を

「11月10日東京裁判」勝利を

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-海江田, 2 集-向井, 3 集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら

